



TANSHIKI Inc.

株式会社 タンシキ

グループ広報 共通の業務システム導入（参考）

2016年7月21日

代表取締役 秋山和久



TANSHIKI Inc. 株式会社 タンシキ

1. よくあるお悩み



- ☑ 部署ごと、グループ会社ごとに広報担当がいて、それぞれ記者との接点があったりなかったり…。情報管理がバラバラ…。



- ☑ 社内から「この写真を使いたい」と言われたけど、集中管理していないから、写真のデータを探すのも大変だし、使ってよいのかどうか分からない…。



- ☑ 各社が社内報を出しているけど、共通の記事データベースがあると、周年のときに楽なんだけど…



TANSHIKI Inc. 株式会社 タンシキ

2. 共通で管理できると良いこと

個人情報への扱いや外注先との契約内容、 著作権等への配慮が必要ですが…

- **メディアリストとコンタクト状況**
- **プレスリリースなどの報道資料や報道実績**
- **写真素材・イラスト素材**
- **各社の社内報の記事データベース 等**

個人情報への扱いや外注先との契約内容、 著作権等への配慮が必要ですが…

・メディアリストとコンタクト状況

- 記者からすると、同じ会社・大学・組織から、
ほぼ同時期にコンタクトされても、扱いに困り
ますし、時間をとられてしまうので迷惑！
- 記者にコンタクトする時間やコストが重複して
ムダが発生していませんか？

個人情報への扱いや外注先との契約内容、 著作権等への配慮が必要ですが…

・プレスリリースなどの報道資料や報道実績

- 各部署、各社で個別に報道資料や実績を管理していると、PDCAの「C」が十分にできません。
- 広報活動をうまくやっている部署・会社の知見は、「横展開」しないともったいない！

個人情報扱いや外注先との契約内容、 著作権等への配慮が必要ですが…

・ 写真素材・イラスト素材

- そもそも、発注の段階で「安さ」を優先してしまい、二次利用不可で使いにくい…も多い悩み。
- 共通の資産にしてしまった方が、部署・各社ごとの予算ではなく、全社・グループ大で見るとコスト減になることも…。

個人情報への扱いや外注先との契約内容、 著作権等への配慮が必要ですが…

・ 各社の社内報の記事データベース

- 周年の調べ物で、過去の紙の社内報や社史の記事データベースがあると作業効率が大幅に向上します。
- 大きな企業・組織ほど、毎年のように何らかの事業や拠点で周年。作業時間の大幅短縮！

その他、情報システムではありませんが

・外注先とコスト

- 印刷や発送なども、発注業者を集約することで、コスト減につながることも。
- チラシ・パンフレット・Web等の制作物も、会社のことを理解してくれるディレクターを置くと、品質向上につながるケースも。



TANSHIKI Inc. 株式会社 タンシキ

3. 共通システム導入の要否を見極めるポイント

導入ありきは良くないです。

- ☑ 作業時間・コストの削減につながるか。

導入ありきは良くないです。

- ☑ 作業時間・コストの削減につながるか。
- ☑ グループの広報統括部署のメリットだけでなく、各部署・各社広報にメリットがあるか。

導入ありきは良くないです。

- ☑ **作業時間・コストの削減につながるか。**
- ☑ **グループの広報統括部署のメリットだけでなく、各部署・各社広報にメリットがあるか。**
- ☑ **すでにあるクラウドの便利ツール等を駆使したり、ファイルサーバの共有で対応したり、選択肢はないか。**

とにかく最初はこれに集中。

☑ 作業時間・コストの削減につながるか。

→ グループ大で、広報活動の作業時間・コストの棚卸しができれば、メディアリストや写真・イラストの管理状況、外注先、契約内容などが必然的に見えてきます。

使われないシステムはムダ。

- ☑ **グループの広報統括部署のメリットだけでなく、各部署・各社広報にメリットがあるか。**
→ 得てして、統括部署が状況を把握したいがためにシステム導入を考えてしまいがちです。使う側が楽になるものであれば、自然と使われるものになります。

無理なく始めることも良

- ☑ **すでにあるクラウドの便利ツール等を駆使したり、ファイルサーバの共有で対応したり、選択肢はないか。**

→ 意外と、表計算ソフトの駆使で目的を達成できることもあります。「人がシステムに合わせる」方が安く早いケースも。



TANSHIKI Inc.

株式会社 タンシキ

ヒントがあれば幸いです。



TANSHIKI Inc. 株式会社 タンシキ

ご参考

弊社のような**外部の専門家の使い方**

- 写真共有、メディアリスト共有、報道状況共有など、個々のニーズに対応するシステムは、すでに提供されているものがあります。
- 個々のニーズに対応した方がよいケースもありますし、全体的に導入の要否を検討した方がよいケースもあります。
- 写真の共有だけで良い！という場合は、関連するサービスを提供している専門業者に相談した方が早いです。
- 全体的に導入の要否を検討する場合は、最初の実施すべき「作業時間やコストの把握」は、基本的に社内でも内製できるはずです。
- 現状を把握できた段階で、どのようなシステムだと業務効率化につながるのか、あるいはシステムではなく連絡会等のアナログで対応した方がよいのか、見極めていく段階で、専門家の助言があると良いでしょう。



TANSHIKI Inc.

株式会社 タンシキ

ありがとうございました。